

研究・調査報告書

報告書番号	担当
276	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Wine, beer or spirit drinking in relation to fatal and non-fatal cardiovascular events: a meta-analysis. ワイン、ビール、蒸留酒の飲酒と致死的・非致死的循環器疾患イベント：メタ分析	
執筆者	
Costanzo S, Di Castelnuovo A, Donati MB, Iacoviello L, de Gaetano G.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Eur J Epidemiol. 2011 Nov;26(11):833-50.	
キーワード	
メタ分析、アルコール、循環器疾患、死亡率	
要 旨	
<p>目的： 先行研究では、異なる種類のアルコール飲料が循環器疾患に保護的に働くかどうかを評価し、ワインでは飲酒量と血管疾患に J 型の関連が報告されたが、同様の関連はビールや蒸留酒では確立されていない。そこで、ワイン、ビール、蒸留酒の飲酒量と血管疾患の関連について最新のメタ分析を実施した。</p> <p>方法： メタ分析に採用する文献は PubMed および EMBASE を用いて 2011 年 3 月に検索した。重み付き最小二乗回帰分析を用いて、各研究から得たアルコール飲料と血管疾患リスクの推定値を統合した。統合用量反応曲線から得た“maximal protection”と“reversion point”を推定値としてデータの評価に用いた。</p> <p>結果： 16 編の研究からワイン摂取と血管疾患リスクが J 型の関連を示すことを確認し、maximal protection は 21g/日のアルコール摂取で平均 31% (95%信頼区間 19-42%) だった。同様に 13 編の研究からビールでも J 型の関連を認め、maximal protection は 43g/日のアルコール摂取で平均 42% (95%信頼区間 19-58%) だった。12 編の研究からはワインとビールの摂取について分けて報告されており、ほぼ重なる用量依存性のカーブが得られ、maximal protection は 25g/日のアルコール摂取で平均 33%だった。</p> <p>結論： 本メタ分析では、ワイン摂取と血管疾患リスクの J 型の関連を確認し、またビールと血管疾患リスクでも同様の関連を初めて報告したものである。しかし、蒸留酒と血管疾患リスクでは、J 型の関連は認めなかった。</p>	